

# ココシリ

「ここが知りたい」  
国際協力に関係する  
いろんなトピックを  
分かりやすく解説します！

ミレニアム開発目標フォローアップ会合

MDGs

## 今さら聞けない・・・ ミレニアム開発目標ってなに!?



日本はMDGs達成のため、さまざまな取り組みを実施。母子保健分野では妊産婦・新生児の死亡率削減に向け、バングラデシュなどで安全なお産を推進

### ■MDGs 8つのゴール

- 1 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 2 初等教育の完全普及の達成
- 3 ジェンダー平等推進と女性の地位向上
- 4 乳幼児死亡率の削減
- 5 妊産婦の健康の改善
- 6 HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延の防止
- 7 環境の持続可能性確保
- 8 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

※MDGsのロゴはNPO法人「ほっとけない世界のまじしき」が作成。

### ミ

レニアム開発目標(MDGs)という言葉聞いたことがあるだろうか。そうこれは、世界中の貧困層の半減に向け、国際社会が定めた「8つのゴール」。2015年までに達成すべき、私たちに課せられた、宿題だ。「世界には1日1・25ドル未満で暮らす人々が4人に1人。実に14億人が、貧困に苦しんでいる」という現実がある。国際社会は近年、途上国の教育や保健医療などの社会開発分野に焦点を当てた支援を重視。その象徴が、01年の「国連ミレニアム宣言」を受けて誕生したMDGsだ。具体的には、貧困削減、教育、ジェンダー、保健医療、環境など8つの目標(右表)別に、明確な数値目標を定めたもの。さらに、「2015年」という達成期限を設置した

という点でも画期的だ。その中で日本は「人間の安全保障」の理念を打ち出し、MDGsの達成に貢献すべく、国家、でなく、個人に焦点を当てた支援を積極的に展開してきた。達成期限まで残り5年を迎えた2010年9月、ニューヨークで「MDGs国連首脳会合」が行われた。この場で、菅直人総理大臣が同会合をフォローアップする国際会議を翌年に日本で開催することを表明。そして6月2日から2日間、国連開発計画(UNDP)、国連児童基金(UNICEF)、世界銀行、JICAとの共催で「MDGsフォローアップ会合」を東京都内で開き、110カ国以上(世界24カ国の閣僚級・副大臣、20の地域・国際機関、国際NGO、民間セクターなど)計3

00人以上が一堂に会した。開会式のスピーチで松本剛明外務大臣は、戦後最悪の自然災害である東日本大震災について触れ、世界中から寄せられた支援に感謝の意を表明。さらに、今回の震災を通じて国際社会における「連帯」の重要性を痛感したとし、MDGs達成のためには、国際社会による真に効果的な手法の追求が必要であるとの考えを示している。フォローアップ会合で焦点となったのは、残り4年での達成が危ぶまれている目標への対応策だ。松本外務大臣は貧困や疾病、自然災害といった試練を克服するためには、「人間安全保障」を重視した社会づくりが必要であると発言。昨年の会合でも提唱した母子保健の「EMBRACE」※1、教育分野の

「スクール・フォー・オール」※2など、日本発の支援モデルの有効性をあらためて強調した。また、MDGs達成のためには、伝統的なドナーのみならず、近年著しい経済発展を遂げる新興国の役割も重要であると指摘。さらに企業や市民社会など幅広いステークホルダーとの連携を進めていく観点から、官民連携のための新たな枠組みを立ち上げることを発表した。日本はMDGsを含む国際的な課題に対し、引き続き国際社会の一員として関係国・機関とともに積極的に取り組んでいく方針だ。

### チ

ユニビアに端を発した中東・北アフリカ地域での民主化運動。最近あまり報道されなくなったが、事態が収束したわけではないのだ。チュニジアやエジプトのように長期独裁政権が崩壊し、「アラブの春」(＝民主化)を迎えた国がある一方、リビアやシリアのように、なおも衝突が繰り返され、いまだ出口の見えない国も多い。中東・北アフリカ諸国の政治・経済・社会分野の変革に向けた努力に対して、G8(先進主要8カ国)は歓迎の姿勢を示している。5月26～27日、フランス・ドーヴィルで開かれたG8サミットには、チュニジアとエジプトの首脳が招待され、「ドーヴィル・パートナーシップ」を宣言。民主化移行・政治改革を後押しするため、世界銀行などの国際開発金融機関が両国に対し200億ドル以上を供与するこ

### 民主化

## 中東・北アフリカで民主化の動き 「アラブの春」はやってくるのか?

とを表明した。またG8は、自由で民主的な社会に移行しようとする他の国々にも、中長期的な経済支援を行うことで一致。これらの成果として「アラブの春」に関するG8宣言」が採択されている。日本の菅直人総理大臣は、「イスラム教徒を抱える国も多い東南アジアでは、国民の合意の下に寛容な社会が築かれてきた」ことを紹介。さらにこの地域の民主化や安定、成長に貢献してきた日本の経験を踏まえ、「公正な政治・行政運営」「人づくり」「雇用促進・産業育成」を中心に、各国の体制移行や政治改革に向けた自助努力を支えていくことを表明した。

中東・北アフリカ地域で迎えている変革期。日本を含め、国際社会が一丸となって支援していく必要がある。中東・北アフリカ諸国の改革・体制移行プロセスへの支援を表明した日本。重点分野は上記の3つ

### 日

本のODAは何を重視しているの?」「どの国にどのような支援をしているの?」「過去にどのくらい実績があるの?」。こうした疑問に答えてくれる外務省のODAホームページがこのたびリニューアルされた。変更のコンセプトは、ざっくり、分かりやすく。これまで複数ページにわたっていたODAの政策やプロジェクト情報を個別にまとめ、ほしい情報がより簡単に検索・入手できるようにした。また、トップページにフォトギャラリーを設置。その時々ホットな話題が写真とともに紹介されている。さらに操作方法も簡略化。「知りたい情報がどこにあるか分からない」なんてことがないようにドロップダウンメニューを新設し、今までならたどり着くのにかかっていたページにも1クリックでアクセスできるよう

### ODAを知る

## ODAホームページがリニューアル 知りたい情報が即座に分かる!

外務省国際協力局の担当者は「より分かりやすく、親しみやすいサイトを目指していきますので、ご要望がありましたらホームページ上の「ODAに関するご意見・ご質問」コーナーにお寄せください」とのこと。前回(6月号)で紹介した「ODA見える化」サイトや、東日本大震災を受けて世界各国・地域から届けられたメッセージや支援の詳細にも簡単にアクセスできる。毎日更新される「新着情報」でODAの動きをウォッチするもよし、ホットな話題の写真を眺めるもよし、国際協力への参加方法をチェックするもよし。まさに使い方はイロイロ。新しくなったODAホームページをぜひ一度訪れてみよう。



5月26～27日、フランス北部のドーヴィルで開かれたG8サミット。日本からは菅総理大臣と松本外務大臣(右から2人目)が出席。長期独裁政権に終止符が打たれたチュニジア・エジプト両国の首脳も招待された

### ■日本が表明した支援

重点分野	具体的な支援内容
公正な政治・行政運営の実現	① 選挙支援 ② ガバナンス支援 ③ 格差是正と安定化
人づくり	① 職業訓練・教育施設の整備 ② 産業技術者の育成 ③ 高等教育・科学技術教育の振興
雇用促進・産業育成	① インフラ整備 ② 中小企業を含む産業多角化支援・投資環境改善 ③ 日本の経験・ノウハウの活用

中東・北アフリカ諸国の改革・体制移行プロセスへの支援を表明した日本。重点分野は上記の3つ



新しくなった外務省のODAホームページ  
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/>

### ■主なコンテンツ

ODAとは?	日本のODA政策や実施体制、予算・実績、ちょっといい話など、基本情報を紹介。
国別地域別政策・情報	国別・地域別にODA政策や国際約束(交換公文)、プロジェクト情報などを掲載。
重点政策・分野別政策	ミレニアム開発目標(MDGs)など、日本が重点を置くODAの政策や分野を解説。
広報・資料	「ODA白書」や「国別データブック」といった報告書の閲覧、メルマガ登録などが可能。
参加希望	学校などに外務省職員を派遣する「ODA出前講座」など私たち個人が参加できる情報を掲載。

操作方法が簡単になり、「どこにどの情報があるか」が1クリックで分かるように